

お嬢さん (1930)

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1930/12/12

【解説】
北村小松の脚本を小津安二郎が監督した、松竹蒲田の喜劇大作。小津はジェームス・楨というペンネームで、「ギャグマン」としてスタッフにも名を連ねている。プリントもネガも失われており、残っているのは脚本のみと言われている。
社会面を担当する若手新聞記者の岡本と斎田は、スクープを求めて取材に明け暮れていたが、いつも他社の女性記者「お嬢さん」に出し抜かれていた。ところがお嬢さんと顔見知りになり、三人一緒に潜入取材をしたころから、岡本も斎田もお嬢さんに心を奪われてしまう。三人の行く末はいかに!?

【クレジット】
監督 小津安二郎
脚本 北村小松
撮影 茂原英雄
ギャグマン 伏見晁
ジェームス・楨 (小津安二郎)
池田忠雄
出演 栗原すみ子 お嬢さん
岡田時彦 岡本時雄
斎藤達雄 斎田達次
田中絹代 キヌ子
岡田宗太郎 社会部長
大国一郎 古参記者
山本冬郷 俳優学校の校長
小倉繁 教師
龍田静枝 不良マダム
毛利輝夫 美青月
浪花友子 その妻
横尾泥海男 侍従長
光喜三子 モダンガール